

山形県遊佐町沖における海底地盤調査

- 促進区域指定ガイドラインを目安として、海底地盤状況を確認するため、以下の調査を実施した。

区分	調査項目	取得データ	測定頻度等	備考
海底地形	深淺測量	海底形状(水深)、海底人工物の有無	測線間隔 約2km	1素子
海底地層	音波探査	海底面下の地層構造	測線間隔 約2km	
海底地質	コーン貫入試験	海底面下の土質性状	1本(海底面下 約60mまで)	
海底地質	PS検層	底質(S波速度)	1本(海底面下 約60mまで)	
海底地質	微動アレイ探査	底質(S波速度)	1カ所(設置基数:4基)	コーン貫入試験と概ね同一カ所

- 調査によって確認された海底地盤の状況は以下のとおり。
 - ① 区域内の水深は、**15m未満が約15%、30m未満が約65%、35m未満が約80%**であり、**区域内の最も深い箇所的水深は、約41m**であった。
 - ② 区域内に**岩盤が露出している箇所は確認されなかった**。
 - ③ コーン貫入試験調査地点における堆積土の性状は、**海底面から約6mは緩い砂質土層**である。**その下は砂質土層が主体で続き、約20mから締まった砂質土主体の地層となる**。

(まとめ)

- 調査の結果、有望な区域の海底地盤において、**洋上風力発電を実施する上で特に不相当と確認される点はなかった**。

※別途、NEDOによる海底地盤調査の現地調査を実施済。

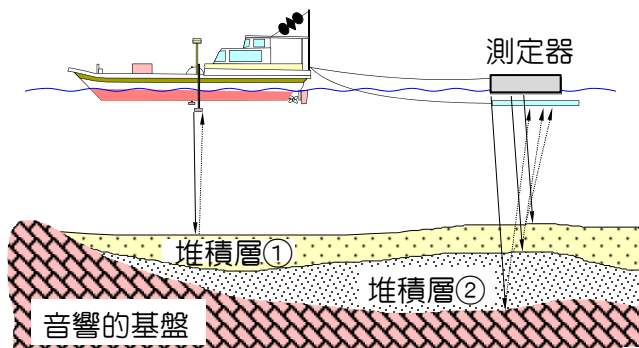


図1 音波探査概念図

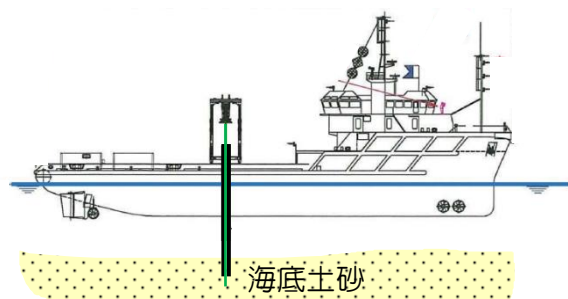


図2 コーン貫入試験概念図

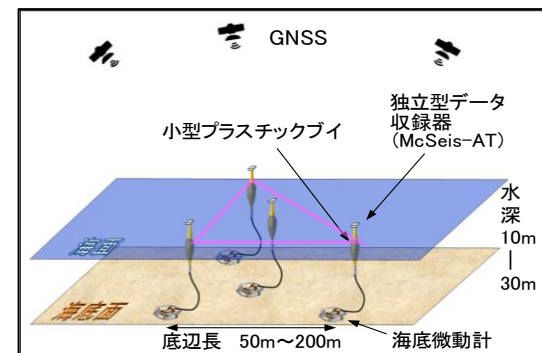


図3 微動アレイ探査概念図